

## 琴似ロイヤル病院が「イムス札幌 幌消化器中央総合病院」に改称

琴似ロイヤル病院（札幌市西区八軒2条西1丁目）が、4月より「イムス札幌消化器中央総合病院」に病院名を改称。医療体制の充実と地域医療へのさらなる貢献を目指す。

新病院名の「イムス」とは、板橋中央総合病院（東京都、中村哲也理事長）を中心としたイムスグループの医療機関であることを意味しており、病院名に明記することで、同グループの理念である「愛し愛される



病院」の実現をこれまで以上に目指していく方針だ。

同院は、1959年に開院。99年から同グループの医療機関となり、地域患者の健康を支える中核病院として大きな役割を果たしてきた。近年では、増加するがんや生活習慣病に対し、専門的かつ迅速な治療を提供するため、設備の充実や診療科目の増設、病棟拡大など医療サービスの強化を積極的に進めてきた。

「病院名にあるように、今後は、消化器領域を中心に位置づけ診療体制を強化していきます。加えて、当院で全ての疾患に対応できるように、総合病院」としての機能と科目を充実させる方針で、地域から信頼され愛される病院を目指します」と抱負を話す丹野誠志院長。診療科目は、内科と消化

病院建物を改修し6月に全面リニューアルする予定だ



消化器担当の  
丹野誠志院長

器科、外科、循環器内科、糖尿病内科、腎臓内科（人工透析）、泌尿器科、整形

外科、リハビリテーション科の10科を備え、予防から急性期医療、がん治療、リハビリテーションまで幅広い分野で、患者への負担の少ない（低侵襲）かつ先進的な医療が受けられる。